

施策番号	1601		
施策名	高齢者の尊厳を保つ社会の構築		
概要	世代を越えて支え合う社会の構築のため、長寿社会への理解と認識を深める取組を推進するとともに、高齢者の権利擁護に関する支援体制の充実を図る。		
担当局・部室	保健福祉局・長寿社会部	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

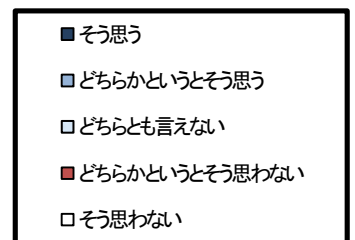
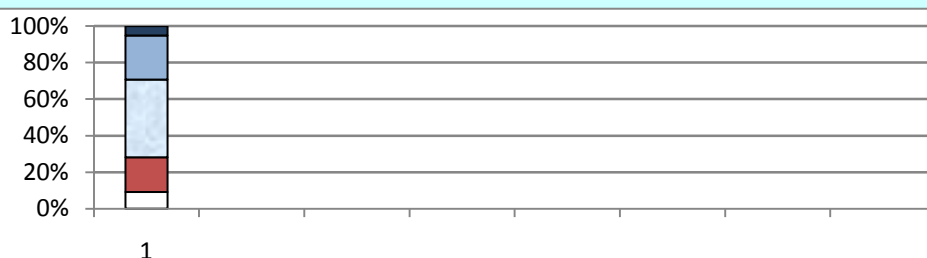
1 客観指標評価

指標名	年度	23年度	24年度評価					
			前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1 認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数(件)	-	a	39	91	43	211.6%	a	1.00
2 -	-	-	-	-	-	-	-	-
3 -	-	-	-	-	-	-	-	-
4 -	-	-	-	-	-	-	-	-
5 -	-	-	-	-	-	-	-	-
6 -	-	-	-	-	-	-	-	-
		a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価

*この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問	24年度回答					有効回答者数	評価
	そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない		
1 高齢者が敬われ、心身ともに健康で充実した暮らしを送れている。	27 5.1%	127 24.1%	224 42.6%	100 19.0%	48 9.1%	526	c
2 -							-
3 -							-
4 -							-
5 -							-
						市民生活実感調査総合評価	c



3 総合評価(客観指標総合評価+市民生活実感調査総合評価)

B	施策の目的がかなり達成されている					23 年度	B
	重み付け	<input checked="" type="checkbox"/> 客観指標	a	<input type="checkbox"/> 市民の実感	c		
(重み付けの理由) この施策は、対象となる市民が一部の高齢者に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						年度	-
(原因分析) ・客観指標総合評価については、申立件数が過去最高値を大きく上回った結果、a評価となっており、これまでの普及啓発により、成年後見制度の周知が図られているものと考えられる。 ・一方で、市民生活実感調査総合評価については、4割を超える方がどちらとも言えないと回答しており、高齢者のくらしが充実したものとして、広く実感されるには至っていない。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		24年度事務事業評価結果 における目標達成度評価	担当局
		23年度 決算額	24年度 予算額		
1	軽費老人ホーム(ケアハウス)利用料補助	443,000	453,984	良い	保健福祉局
2	特別日用品費支給	25,067	27,170	かなり良い	保健福祉局
3	短期入所生活介護緊急利用者援護事業	86,931	78,378	普通	保健福祉局
4	日常生活用具給付等事業	36,302	41,252	普通	保健福祉局
5	家族介護用品給付事業	130,941	135,729	かなり良い	保健福祉局
6	徘徊高齢者あんしんサービス事業	3,766	3,957	かなり良い	保健福祉局
7	入浴サービス助成事業	8,394	10,316	かなり良い	保健福祉局
8	高齢外国籍市民福祉給付金支給事業	38,893	36,664	良い	保健福祉局
9	認知症高齢者等権利擁護推進事業	9,702	15,548	かなり良い	保健福祉局
10	高齢・障害外国籍市民福祉サービス利用サポート助成事業	2,239	2,239	普通	保健福祉局
11	認知症あんしん京(みやこ)づくり推進事業	5,234	14,213	かなり良い	保健福祉局
12	高齢者虐待防止事業	8,434	8,322	普通	保健福祉局
13	虚弱高齢者等入浴支援モデル事業助成	296	300	かなり良い	保健福祉局
14	孤立死防止推進事業	820	1,342	かなり良い	保健福祉局
15	高齢者虐待シェルター確保事業	1,635	2,374	悪い	保健福祉局
16					
17					
18					
19					
20					

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・今後とも成年後見制度の普及・啓発に努めるとともに、関係機関・団体と連携しながら、申立支援や市民後見人の養成、法人後見に対する支援など、権利擁護対策を積極的に推進し、誰もが住み慣れた地域で安心・安全に暮らせる社会の実現に向け、取り組んでいく。

施策名	1601	高齢者の尊厳を保つ社会の構築
-----	------	----------------

指標名	認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数（件）
-----	----------------------------

担当課	長寿福祉課	連絡先	251-1106
-----	-------	-----	----------

1 指標の説明

成年後見制度の利用が必要な身寄りのない重度の認知症高齢者に係る市長による後見等開始申立件数

2 指標の意味

判断能力が不十分な認知症高齢者のための権利擁護の状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：京都市における申立て件数
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	22年度	23年度		数値	根拠	達成度
数値	39	91	52件増	43	過去5年間の申立件数最高値の10%増	211.6%

	全国順位	中長期目標			根拠
		数値	目標年次	達成度	
数値					

備考	
----	--

5 評価基準

単年度目標に対する達成率が、
a：100%以上
b：90%以上100%未満
c：80%以上90%未満
d：70%以上80%未満
e：70%未満

6 基準説明

成年後見制度利用に係る市民ニーズに対応するため、当面申立件数を増加させる必要があることから、目標値の100%以上をa、以下10%刻みで基準を設定した。
最高値：39件（平成22年度）

7 評価結果

	23	24
-	a	a